

令和7年11月18日

太子町議会議長 首藤佳隆様

福祉文教常任委員会
委員長 山本順久

所管事務調査報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり報告します。

記

1 調査事件名

(1) 課題調査

- ① G I G Aスクール構想の検証と今後の展望について
 - ・現地視察（斑鳩小学校）
小学校におけるタブレット端末使用状況について視察
 - ・質問事項について（教育委員会管理課）（当局出席）

- ② 龍田小学校 特色ある学校づくりについて

(2) その他

2 調査年月日

令和7年11月12日（水）午前9時40分～午後2時17分

3 調査等の経過及び意見

(1) 課題調査

- ① G I G Aスクール構想の検証と今後の展望について

斑鳩小学校において、音楽（2年生）と算数（3年生）の授業におけるタブレット端末の使用状況について視察した。（行政視察報告書参照）

視察終了後、帰庁し、提出していた質問事項について教育委員会管理課より回答（別紙参照）を得て、質疑応答を行った。「各小中学校におけるタブレット端末やICTを活用した学習指導について教育委員会として把握はできているのか。」との質疑に、「教育委員会としては同じように進めたいと考えているが、基本的に授業のやり方は教職員に任せられている部分もあり、学校、学級単位で若干の差が生じている。」との答弁があった。「ICTの活用により授業のやり方が大きく変化していると感じるが、保護者から不安視

する声はないか。」との質疑に、「教育の分野も時代と共に変わってきており、新たな指導方法を取り入れる場合は保護者に対する丁寧な説明が必要であると考えている。」との答弁があった。

行政視察報告書については各自で11月19日（水）までに事務局に提出し、それを委員長が整理し、視察報告書を作成することとした。

次回の委員会で文部科学省から出されている動画を視聴すること、視察については近隣市町も含めて検討することとした。また「GIGAスクール構想の検証と今後の展望について」どのような視点で調査研究すべきかを各自で意見をまとめることとした。

② 龍田小学校 特色ある学校づくりについて

正副委員長で作成した提言書案（別紙参照）を説明し、内容について協議した。提言するポイントを「1 どのような特色を打ち出すか」と「2 小規模特認校として進める際の留意点」の2点とし、それぞれについて意見交換した。

1については「少人数だからこそできることや小規模校のメリットが伝わるような書き方にすべきではないか」「特色ある取組に使える時間も考慮して提案すべきではないか」「少し項目を絞り込んだほうが良いのではないか」などの意見が出された。大項目として（1）少人数教育の利点を活かした学校づくり（2）地域の環境や特性を活かした学校づくりの2項目は残し、小項目については出された意見を整理し、正副委員長でまとめることとした。

2については「重複している部分を整理してはどうか」「丁寧なわかりやすい書き方にした方が良いのではないか」「少子化が加速する可能性があることなど将来を見据えた視点も必要ではないか」などの意見が出された。正副委員長で整理した修正案を提示し、次回の委員会で最終案を決定することとした。提言書の提出時期など今後のスケジュールについて確認をした。

（2）その他

次回の委員会は12月8日（月）午前10時より開催し、付託案件審査を行い、課題調査についても状況に応じ協議することとした。また、当局への課題調査・所管事務調査についての質問事項があれば、11月21日（金）正午までに事務局に提出することを確認した。